

### 第3回魚野川水辺プラザのあり方を考える懇談会 議事録

○ 日時：平成27年3月3日(火) 13:30～15:00

○ 場所：長岡市川口支所3階会議室

○ 出席者：別紙出席者名簿参照

○ 議事：

(1)第二回懇談会及び委員からの御意見

(2)水辺プラザ・相川川形状の考え方

(3)水辺プラザ施設配置計画(案)

(4)その他

○ 議事録

#### 1. 議題(1)『第二回懇談会及び委員からの御意見』について

- ・ 水辺プラザの利用にあたり、ツツガムシに注意する必要がある(西山委員)。  
→審議の結果、ツツガムシに対して必要に応じて注意喚起することになった。

#### 2. 議題(2)『水辺プラザ・相川川形状の考え方』について

- ・ 施工時には、現地をみながら河道を調整していく必要がある(安田委員)。  
→審議の結果、参考意見として留めることになった。

#### 3. 議題(3)『水辺プラザ施設配置計画(案)』について

- ・ 相川川からせせらぎ水路への流入箇所について直角ではなく、鋭角で流入させたほうが生き物の移動等を考慮する上で望ましい。また、鋭角で流入させても、せせらぎ水路にあるステップ&プールや水路の横断形状より、洪水が来ることによって、土砂の排出が適度に進む。また、床固工の下流には減勢対応が必要(安田委員)。  
→審議の結果、せせらぎ水路への流入箇所については鋭角で流入させること、また、床固工下流の減勢工について、本川との水位関係や河床の状況を踏まえながら、必要性を考慮し設計を進めることになった。
- ・ せせらぎ水路の横断勾配(1:1.5)が急ではないか。せせらぎ水路の横断勾配について、適当な横断勾配とすること(早川委員長)。
- ・ ヤナ場の移設に際しては、ヤナの関係者の話を聞いてほしい(皆川委員)。

#### 4. 議題(4)『その他』について

- ・ 本地区で確認された絶滅危惧種等については、本地区以外でも存在が確認されており、計画変更の必要はない(西山委員)。
- ・ 今後、ツツガムシに関して講習会等を開くのであれば、新潟県生物教育研究会より指導

を受けられる（西山委員）。

- ・ ヤナ場を中心とした水辺プラザは長岡市にとっても大切な観光資源であり、川口支所としても一緒に手を取り合って、早期実現を望んでいく（谷内田委員）。
- ・ せせらぎ水路の横断勾配について緩くしたほうが川に入りやすい。相川川の流入口を斜めにするによって、魚の遡上が良くなり、「生きた」川の流れになる。魚が捕れるようなヤナ場にしてもらいたい（真島委員）。
- ・ 本懇談会を踏まえ、早期に整備してほしい（佐藤委員）。
- ・ 「自然の川」、「生きた川」が一番いい（森山委員）。

以上の議論の後、早川委員長より、事務局にて本日の意見を資料へ反映し、後日、委員長が最終確認を行った上でとりまとめるという提案がなされ、合意された。続いて、3回に及ぶ懇談会の審議終了が宣言された。

以上

※本議事録は、会議の速記録に基づき、事務局が委員長の指導の下、作成したものです。

<別紙>

魚野川水辺プラザのあり方を考える懇談会 出席名簿

	氏名	所属名・職名	備考
委員長	早川 典生	長岡技術科学大学名誉教授	
委員	安田 陽一	日本大学理工学部教授	
委員	西山 邦夫	元長岡市立科学博物館館長	
委員	谷内田 恵一	長岡市川口支所長	
委員	佐藤 栄美子	川口町商工会女性部部长	
委員	皆川 雄二	魚沼漁業協同組合組合長	
委員	小宮山 正久	西川口地区総代	
委員	真島 松栄	游川の会代表	
委員	森山 実	いきいき田麦山代表	
委員	福渡 隆	信濃川河川事務所長	
—	大澤 範一	(株)東京建設コンサルタント	シミュレーション実施コンサルタント
事務局	日野 充人	信濃川河川事務所副所長	
事務局	秩父 宏太郎	信濃川河川事務所調査課長	

※敬称略